

塩竈アフタースクール事業について

次世代を担う子どもの育成を図ることを目的に『塩竈アフタースクール事業』を進めています。

『塩竈アフタースクール事業』は、教育委員会の「わくわく遊び隊」と健康福祉部の「子どもほっとスペースづくり支援プログラム」で構成されます。

わくわく遊び隊

わくわく遊び隊は、小学生が授業終了後に学校の校庭などで、運動要素を取り入れたレクリエーション活動や地域文化の体験型学習活動を行い、子どもたちが安心して楽しめる居場所をつくります。

「子どもたちの体力・運動能力を向上させたい！」との思いから、塩竈市スポーツ推進委員、塩釜市体育協会、塩竈フットボールクラブの方々が指導者および協力員として、平成28年度に玉川小学校で開始されました。

平成28年度

玉川小学校の1年生から3年生の希望者を対象に、週1回程度、年間24回開催しました。運動の基礎になる「投げる」「走る」「跳ぶ」を軸にさまざまな運動を行い、ドッジボール・鬼ごっこ・サッカーが人気でした。



平成29年度

小学校ごとに、PTAの方々を中心に運営委員会をつくり、学校ごとの特徴も加えながら、開催を進めていました。

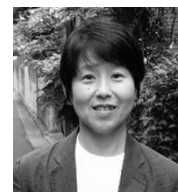
6月には月見ヶ丘小学校で、10月には杉の入小学校と第三小学校で開始しました。11月までにすべての学校で開始予定です。

登録児童は、6校合わせて266名。週に1回、子どもたちが放課後に体をのびのび動かせる居場所になりました。



子どもほっとスペースづくり支援プログラム

地域の方々などにより子どもたちが放課後、休日、長期休業中にほっとできる居場所をつくるプログラムです。設立を支援するために、助成金による支援と講演会、勉強会などを開催しています。



プログラム1 こどもほっとスペースづくり助成金

ほっとスペースづくりを行っていただく団体などに助成金による支援と、支援研修などを通して活動をサポートするものです。第1回目の申請では、プレイパーク・こどもカフェ・学習支援等4件の申請がありました。

【助成の概要について】

支援金額

上限25万円(1団体あたり)

[予算]平成29年度1,000千円、平成30年度3,000千

対象活動

○平日の放課後や夜間の子どもの居場所

[例]子ども・地域食堂・学習支援

○学習支援など

[例]英会話教室や料理教室など

○多様な学びを通じた多世代間の交流を図る事業

[例]伝承遊び、囲碁、将棋、体験事業など

プログラム2

こどもほっとスペースづくり講演会(別紙参照)

11月3日(金・祝)13:30~16:30 ふれあいエスプ塩竈にて講演会が行われました。

こどもの居場所の大切さについて、子ども食堂主催者の栗林さんの講演を行いました。実例を交えたわかりやすい講話が参加者に好評でした。

第2部では、助成金の説明会を開催しました。

プログラム3

こどもほっとスペースづくり勉強会(別紙参照)

子どもの居場所づくりに関心がある方を対象に勉強会を行います。全6回シリーズで、子ども向けプログラムの作り方、安全管理などを予定しています。

11月8日には、第1回勉強会として「子どもの居場所をつくる際、何から始めるといいのか」をテーマにワークショップ形式で参加者の方々の活発な議論が交わされました。